

国民皆保険の**崩壊**の危機

～受診相談からみえる国民健康保険制度の深刻な実態～

2018年 10月20日（土）午後3時～5時

金沢市松ヶ枝福祉館 1F生きがい活動室(金沢市高岡町1-25)

報告者：川合 優 さん(城北病院 医療ソーシャルワーカー)

- ▽ 国民皆保険の根幹とも言える国民健康保険制度（以下、国保）が崩壊の危機に直面している。高すぎる国保料が原因で保険料を滞納してしまい、その結果として、自治体から保険証の返還を求められ、手元に保険証がない人も多く存在する。保険証がないために、医療機関にかかることもできず、受診時には手遅れとなってしまうケースが後を絶たない。実際、私が働く城北病院でも毎年、国保加入者による受診手遅れ事例が発生している。
- ▽ これらの背景には、国保制度が抱える構造的な問題が隠れていることは言うまでもない。国保加入者の半数は無職者であり、さらには高齢で所得水準が低い人が多くを占めている。一方で、自治体への国保財政への国庫支出金は年々削減されており、その結果として国保料が増加傾向にある。
- ▽ さらに、今年度より国保の都道府県化が開始され、医療費削減政策のシステムとして国保制度が利用されることとなり、国保料のさらなる引き上げが懸念されている。
- ▽ 今回の例会では、実際に医療機関でおこっている深刻な実態の報告をさせていただき、参加者の皆さんとともに、あるべき国保制度の姿について考えていきたいと思っております。多数のご参加をお待ちしております。

事前申し込み不要、参加費無料です。多くの方のご参加をお待ちしております。

主催：医療・福祉問題研究会

〒920-1192 金沢市角間町 金沢大学地域創造学類社会保障論研究室内

ホームページ <http://ihmk.sakura.ne.jp/>

お問い合わせ先（E-mail）

ihmk1986★gmail.com（送信時は、★→@に変えてください）